

## 第I章. 都市概況の整理

### 1. 由比町の沿革

#### (1) 位置

由比町は、北緯 35 度 6 分、東経 138 度 33 分、静岡県の中央部に位置し、南は駿河湾に面し、東は静岡市（旧蒲原町）、北は富士川町と芝川町、西は静岡市（旧清水市）に接しています。

町域は東西約 4.6km、南北約 10km、面積約 2,303ha で、山間地が町全域の約 75%を占めており、この傾斜地は主に柑橘類の畑や山林として利用されています。



一方、平地は約 25%で、由比川、和瀬川の流域、及び海岸線に沿って帯状に形成されています。この狭い平地には、東西方向に東名高速道路や国道 1 号、J R 東海道本線などの主要な交通施設が集中するとともに、民家を含む各種建築物が密集し、本町の中心地になっています。

#### (2) 沿革

本町の歴史は古く、江戸と京を結ぶ東海道の 16 番目の宿場町として繁栄してきました。当時は 由井 という地名が使われており、明治になると、廃藩置県の後、1 宿 12 ヶ村をあわせ 1 自治区となり、明治 17 年には、1 宿 9 ヶ村による一部役場ができました。

明治 22 年に由比宿、北田村、町屋原村、今宿村、寺尾村、東倉沢村、西倉沢村、西山寺村、阿僧村、東山寺村、入山村の 1 宿 10 ヶ村 (1,046 戸 6,250 人) により正式に 由比 として町政を施行し、平成元年に町制施行 100 周年をむかえました。これだけの歴史をもつ町は全国でも数少なく、歴史が貴重な財産となっています。

近年では平成 6 年の東海道広重美術館の開館など、文化の発展・観光にも力を入れ、多くの方が訪れていますが、薩埵峠、小池邸、浜石岳、銚子口の滝など、町内の各観光資源を連携し、交流人口の増加を図り、町活性化に結びつける施策が必要となっています。

また本町は、温暖な気候と海、山など豊かな自然に恵まれ、山間地の傾斜地形を利用した柑橘類栽培を中心とした農業と、桜えびを中心とした漁業で発展してきましたが、近年、農業においては温州みかん等の低迷が続き、漁業では桜えび漁が比較的安定していますが、資源確保に取り組むとともに、漁業基地である由比漁港の早期整備などによる効率的漁業運営が期待されています。

## 2. 人口・世帯数

本町の平成 17 年 10 月 1 日現在（国勢調査）の人口は 9,600 人で、1 万人を割り込みました。世帯数は 2,892 戸です。

また、5 ヶ年ごとの人口推移をみると、概ね 3～5% が減少し続けています。

一方、平均世帯人員数の推移をみると、昭和 55 年には 4.25 人／戸でしたが、平成 17 年には 3.32 人／戸まで減少しており、本町においても核家族化が進行しているものと推察されます。しかし、静岡県平均は平成 17 年で 2.82 人／戸なので、県内においてはその進行が遅い方です。

### ◆総人口・世帯数・平均世帯人員数の推移

年 度	人 口		世 帯		平均世帯人員数
	数	対前回増減率	数	対前回増減率	
昭和 55 年	11,709 人		2,758 戸		4.25 人／戸
昭和 60 年	11,347 人	-3.09%	2,758 戸	±0.00%	4.11 人／戸
平成 2 年	10,893 人	-4.00%	2,776 戸	+0.65%	3.92 人／戸
平成 7 年	10,368 人	-4.82%	2,801 戸	+0.90%	3.70 人／戸
平成 12 年	10,013 人	-3.42%	2,842 戸	+1.46%	3.52 人／戸
平成 17 年 (県平均)	9,600 人	-4.12%	2,892 戸	+1.76%	3.32 人／戸 (2.82 人／戸)

資料：国勢調査

5 歳階級別人口ピラミッドをみると昭和 55 年には釣鐘型でしたが、若年層の減少、高齢層の増加が進行し、平成 17 年にはひし形に変形しています。

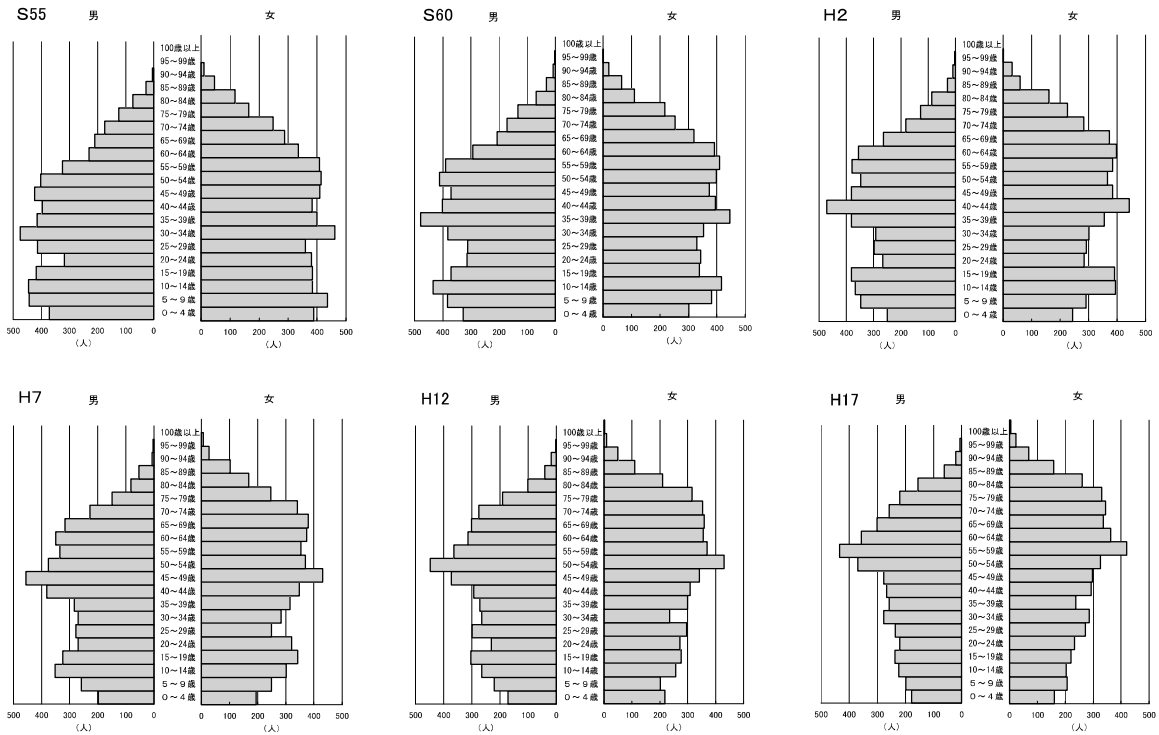
高齢者率（65 歳以上人口）をみると、昭和 55 年は 12.7% でしたが、平成 17 年には 26.6%（静岡県平均は 20.5%）になりました。また、14 歳未満人口は昭和 55 年の 21.1% から平成 17 年には 12.2%（静岡県平均は 14.2%）に減少し、県内においては少子高齢化が進行している町といえます。

◆年齢・性別人口

	昭和55年				昭和60年				平成2年				平成7年				平成12年				平成17年			
	総数	比率%	男	女	総数	比率%	男	女	総数	比率%	男	女	総数	比率%	男	女	総数	比率%	男	女	総数	比率%	男	女
総数	11,709	100.0	5,693	6,016	11,347	100.0	5,488	5,859	10,893	100.0	5,230	5,663	10,368	100.0	4,963	5,405	10,013	100.0	4,744	5,269	9,600	100.0	4,558	5,042
0～4歳	759	6.5	371	388	628	5.5	327	301	495	4.5	251	244	392	3.8	197	195	389	3.9	171	218	339	3.5	178	161
5～9歳	879	7.5	443	436	765	6.7	383	382	638	5.9	347	291	507	4.9	258	249	423	4.2	221	202	404	4.2	198	206
10～14歳	830	7.1	446	384	850	7.5	434	416	762	7.0	368	394	653	6.3	352	301	520	5.2	264	256	427	4.4	224	203
15～19歳	802	6.8	418	384	709	6.2	371	338	773	7.1	382	391	666	6.4	324	342	580	5.8	304	276	457	4.8	237	220
20～24歳	699	6.0	318	381	657	5.8	314	343	551	5.1	267	284	590	5.7	269	321	503	5.0	231	272	453	4.7	220	233
25～29歳	774	6.6	414	360	640	5.6	311	329	590	5.4	298	292	527	5.1	278	249	594	5.9	298	296	508	5.3	236	272
30～34歳	936	8.0	475	461	735	6.5	382	353	594	5.5	293	301	553	5.3	269	284	500	5.0	265	235	563	5.9	277	286
35～39歳	815	7.0	415	400	925	8.2	479	446	737	6.8	382	355	598	5.8	283	315	571	5.7	271	300	496	5.2	258	238
40～44歳	780	6.7	397	383	796	7.0	401	395	914	8.4	472	442	730	7.0	382	348	602	6.0	293	309	559	5.8	267	292
45～49歳	833	7.1	424	409	743	6.5	370	373	766	7.0	382	381	886	8.5	455	431	715	7.1	373	342	575	6.0	278	297
50～54歳	817	7.0	403	414	810	7.1	412	398	714	6.6	348	366	746	7.2	376	370	878	8.8	448	430	696	7.3	370	326
55～59歳	733	6.3	325	408	799	7.0	390	409	764	7.0	380	384	688	6.6	334	354	733	7.3	364	369	854	8.9	434	420
60～64歳	565	4.8	230	335	684	6.0	293	391	754	6.9	356	398	723	7.0	349	374	668	6.7	313	355	719	7.5	357	362
65～69歳	497	4.2	209	288	526	4.6	207	319	638	5.9	265	373	697	6.7	317	380	660	6.6	301	359	638	6.6	301	337
70～74歳	423	3.6	175	248	424	3.7	171	253	465	4.3	182	283	569	5.5	228	341	628	6.3	275	353	602	6.3	258	344
75～79歳	289	2.5	125	164	350	3.1	133	217	354	3.2	128	226	395	3.8	148	247	507	5.1	191	316	550	5.7	220	330
80～84歳	191	1.6	74	117	178	1.6	68	110	248	2.3	87	161	250	2.4	82	168	311	3.1	101	210	417	4.3	156	261
85～89歳	73	0.6	27	46	97	0.9	32	65	90	0.8	30	60	135	1.5	53	102	151	1.5	41	110	220	2.3	62	158
90～94歳	14	0.1	4	10	28	0.2	8	20	42	0.4	10	32	33	0.3	6	27	68	0.7	18	50	90	0.9	21	69
95～99歳	0	0.0	0	0	3	0.0	2	1	4	0.0	2	2	10	0.1	3	7	10	0.1	1	9	29	0.3	6	23
100歳以上	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	2	0.0	0	2	4	0.0	0	4
不詳	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0
14歳以下	2,468	21.1	1,260	1,208	2,243	19.8	1,144	1,099	1,895	17.4	966	929	1,552	15.0	807	745	1,332	13.3	656	676	1,170	12.2	600	570
65歳以上	1,487	12.7	614	873	1,606	14.2	621	985	1,841	16.9	704	1,137	2,109	20.3	837	1,272	2,337	23.3	928	1,409	2,550	26.6	1,024	1,526

※一般に、高齢化率が7%を超えた社会を「高齢化社会」、14%を超えた社会を「高齢社会」と呼んでいる。(平成15年度版「高齢社会白書」より)

◆5歳階級別人口ピラミッド



資料：国勢調査報告

### 3. 産業

#### (1) 就業人口

本町の実業人口総数は平成7年までは概ね6,000人近くを推移していましたが、平成12年には大きく減少し、平成17年においても減少の傾向は続いています。

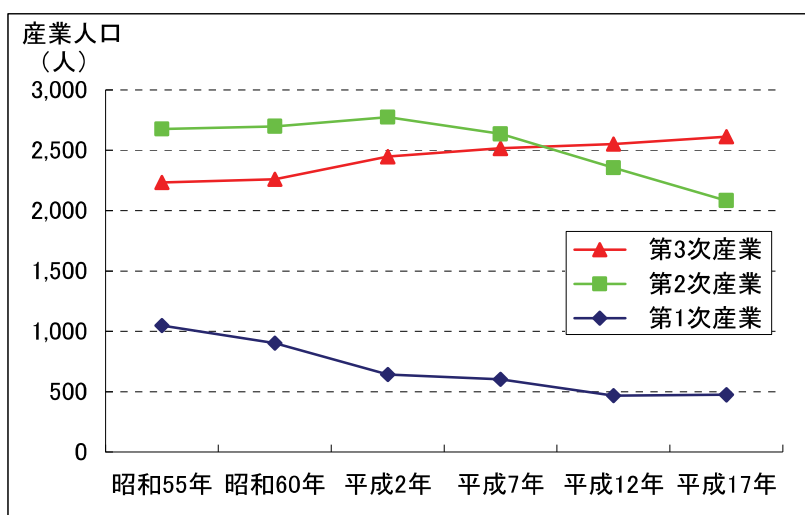
産業分類別にみますと、従来から第1次産業は減少傾向にありましたが、平成17年には微増しています。第2次産業は平成2年をピークに近年減少傾向にあります。第3次産業の実業人口は総数比で増加し続けており、平成17年に2,600人を越え、本町の実業人口の半数も超えました。

#### ◆就業人口の推移

	昭和55年		昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年		平成17年	
	(人)	(人)	対S55年 増減%	(人)	対S60年 増減%	(人)	対H2年 増減%	(人)	対H7年 増減%	(人)	対H12年 増減%	
就業人口総数	5,957	5,860	-1.63	5,863	0.05	5,757	-1.81	5,372	-6.69	5,170	-3.76	
第1次産業	1,049	901	-14.11	643	-28.63	604	-6.07	466	-22.85	474	1.72	
総数比%	(17.61)	(15.38)		(10.97)		(10.49)		(8.67)		(9.17)		
第2次産業	2,675	2,697	0.82	2,774	2.86	2,634	-5.05	2,355	-10.59	2,085	-11.46	
総数比%	(44.91)	(46.02)		(47.31)		(45.75)		(43.84)		(40.33)		
第3次産業	2,233	2,262	1.30	2,446	8.13	2,514	2.78	2,551	1.47	2,611	2.35	
総数比%	(37.49)	(38.60)		(41.72)		(43.67)		(47.49)		(50.50)		

資料：国勢調査

#### ◆就業人口の推移グラフ



## (2) 農 業

本町の農業は、みかんを基幹作物として発展してきましたが、平成17年における専業農家数は30戸で、過去20年間で63%減少、耕地面積は118ha、72%減少し、遊休農地化が進んでいます。また、農業従事者の高齢化、後継者不足が深刻な問題となっています。

## ◆農家戸数と経営耕地面積の推移

	総数	専業農家数	兼業農家		総面積 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)	果樹園 (ha)
			第一種	第二種				
昭和60年	818	60	86	672	421.98	5.71	9.42	406.85
平成2年	490	39	50	401	250.13	3.16	6.25	240.72
平成7年	421	40	62	319	194.00	4.05	8.55	181.40
平成12年	377	24	24	329	175.41	2.31	9.32	163.78
平成17年	336	30	24	282	118.38	1.76	8.41	108.21

資料：農業センサス

## (3) 漁 業

本町の主要産業のひとつである漁業は、桜えび・しらす・定置網漁を中心に発展してきており、なかでも桜えびは漁獲高、水揚金額の大部分をしめている状況です。

## ◆由比漁港における漁獲高の推移

年次		総計	エビ類	割合 (%)	しらす類	割合 (%)
平成12年	水揚量(t)	2,129	1,675	78.7	203	9.5
	水揚金額(千円)	2,375,087	2,074,078	87.3	153,774	6.5
平成13年	水揚量(t)	2,225	1,729	77.7	190	8.5
	水揚金額(千円)	3,187,081	2,857,025	89.6	176,756	5.5
平成14年	水揚量(t)	1,755	1,221	69.6	181	10.3
	水揚金額(千円)	3,270,333	2,931,016	89.6	178,991	5.5
平成15年	水揚量(t)	1,772	1,378	77.8	151	8.5
	水揚金額(千円)	3,161,208	2,929,913	92.7	149,750	4.7
平成16年	水揚量(t)	1,943	1,358	69.9	77	4.0
	水揚金額(千円)	3,416,208	3,134,651	91.8	103,697	3.0
平成17年	水揚量(t)	2,404	1,254	52.2	286	11.9
	水揚金額(千円)	3,550,329	3,209,649	90.4	188,975	5.3
平成18年	水揚量(t)	2,183	1,379	63.2	170	7.9
	水揚金額(千円)	3,666,962	3,345,045	91.2	153,312	4.2
平成19年	水揚量(t)	2,184	1,397	64.0	204	14.6
	水揚金額(千円)	4,285,797	3,949,397	92.2	137,052	3.5

資料：由比港漁業協同組合

#### (4) 商業

本町の小売業は全般的に小規模の店舗が分散しており、商店街の形成がなされておらず、駐車場不足など利便性に欠け、消費者ニーズの対応にも遅れているのが現状で、大型店などへの流出が顕著なものになっています。

しかし、観光施策や民間活力により、県内外から観光客が数多く訪れるようになり、商業活動も活発化してきています。

##### ◆商店数・従業員数・年間販売額の推移

	商店数		従業員数		年間販売額	
		前回比%	(人)	前回比%	(百万円)	前回比%
平成 6 年	185		654		12,415	
平成 9 年	168	-9.19	597	-8.72	12,191	-1.80
平成 11 年	166	-1.19	644	7.87	12,048	-1.17
平成 14 年	157	-5.42	717	11.34	10,733	-10.91
平成 16 年	139	-11.46	618	-13.81	10,010	-6.74

資料：商業統計調査

#### (5) 工業

本町の工業は、自然的資源に恵まれた第1次産業の振興の中で、桜えび・しらすの加工、水産練製品等の水産工業は着実に発展してきましたが、小規模な事業所が多数を占めているのが現状です。事業所数に大きな変化はないものの、従業者数は年々減少しています。

##### ◆事業所数・従業員数・製造品出荷額の推移（4人以上）

	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (百万円)
平成 12 年	60	1,149	2,922,851
平成 13 年	58	1,143	2,976,277
平成 14 年	56	1,093	2,809,766
平成 15 年	58	1,080	2,819,350
平成 16 年	54	1,027	2,739,320
平成 17 年	55	999	2,758,168
平成 18 年	51	977	2,790,390

資料：工業統計調査

#### (6) 観光

本町は約75%が山間地で占められていますが、手軽なハイキングコースとして有名な標高707mの浜石岳や歌川広重の描いた当時の面影を残す薩埵峠は貴重な観光資源になっています。また、旧東海道である県道由比停車場線沿いの由比本陣公園内には東海道広重美術館があり、周辺の民間店舗の出店により観光拠点になっています。1年間の観光客は約10万人が訪れ、5月の桜えび祭は1年間でもっとも賑わいます。